

SHIRAKOBATO

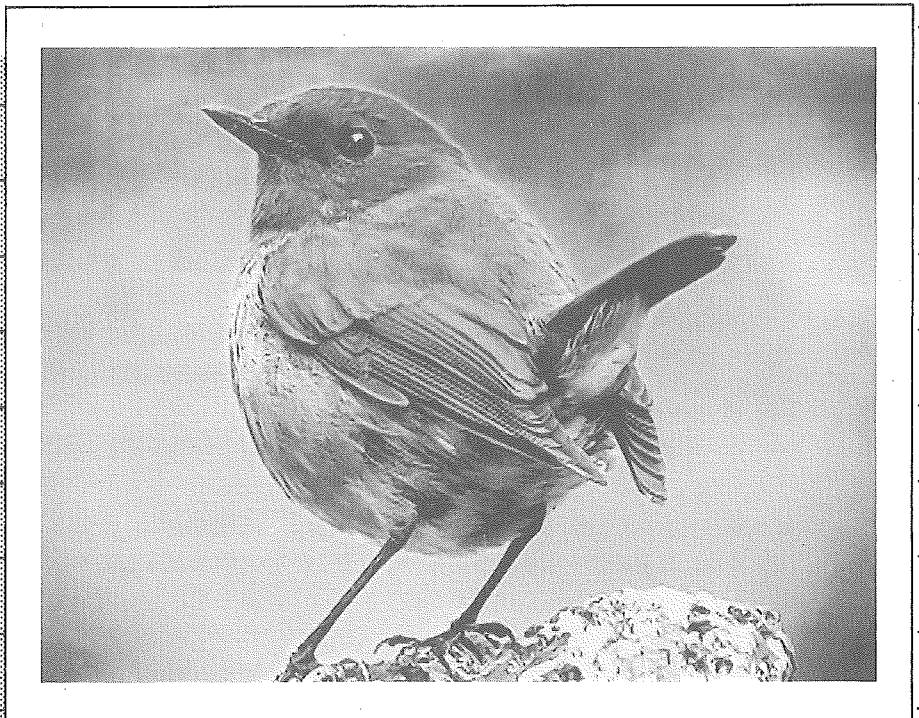
しらこぼと



1996. **S**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 148

日本野鳥の会 埼玉県支部

総会報告

6月23日（日）午後1時から、伊奈町の埼玉県県民活動センターで、日本野鳥の会埼玉県支部の平成8年度（第12回）総会が開催されました。

■記念講演

榎本秀和幹事の司会で開会し、最初は記念講演です。

支部総会では、毎回本部職員を招待しています。日ごろ各地の支部の現況にふれる機会の少ない本部職員に、多少とも支部の現場を知ってもらおうと共に、支部会員と本部職員の交流の場にもしたいからです。同時に記念講演もお願いしています。

今年には本部研究センターの成末雅恵さん。Strix12に『埼玉県におけるサギ類の集団繁殖地の変遷』という論文を発表したこともある成末さんは、現在取り組んでいる浜離宮のカワウのコロニーの移転計画を中心に、『関東地方のカワウ』について、スライドやOHPを駆使して講演。この講演だけを聞きに来たという人もいて、充実した内容でした。



講演する成末雅恵さん

■事業報告と事業計画

総会は、松井昭吾支部長の挨拶の後、高草木泰行幹事が議長、新堂克浩幹事が書記、中島康夫幹事と菱沼一充幹事が議事録署名人に選出され、議事に入りました。

支部総会での議決事項は、日本野鳥の会埼玉県支部規約第18条に、「総会では、次の事項を議決する。1、規約の変更、2、役員を選任及び解任、3、事業計画・事業報告・予算・決算の承認、4、その他支部の運営上特

に必要な事項」と定められています。

今回は、この内1と4はありませんので、2と3だけです。

まず、平成7年度事業報告と平成8年度事業計画について一括審議することが議長によって告げられて、事務局担当の海老原美夫副支部長が、説明に立ちました。説明された内容の主なものは次のとおりです。

①増加し続けていた会員数が7年度は76人増にとどまり、初めて横ばい状態になった。

②探鳥会は年間119回計画されたが、その内6回が雨天などで中止されたので、実施されたのは113回、合計参加者数は4,283人のぼり、それぞれ前年の実施99回、3,888人を上回った。

③事業部長空席のために、事業部活動がふるわなかった。平成8年度の事業計画では、事業部の立て直しを重点目標にしたい。

そのほかに様々な普及活動、研究活動、編集部の活動、野鳥記録委員会の活動についての報告もありました。更に、ほぼ前年度の計画を踏襲する8年度事業計画案が説明された後、会員数増減の動態、春秋のシギチドリ類調査、探鳥会での安全対策についての質疑応答があり、議案は承認されました。

■7年度決算と8年度予算

個々の項目について説明されましたが、特に繰越金については、過去10年以上の事業部活動の収益金に手をつけないようにして積み立ててきたものが主であり、事務専従者人件費発生の可能性、事務局家賃関係等不測の出費の可能性、万一の事故の際への対応費用などを考えたら、決して多過ぎる繰越金とは言えないと説明されました。

楠見邦博監事から適正に経理処理されているとの監査報告と、探鳥会参加費の納金や仮払金の清算は速やかに行われるべきこと、今

平成7年度決算・8年度予算

収 入	7年度決算	8年度予算
期首繰越金	5,505,906	6,682,869
会費収入	4,112,700	4,000,000
寄付金収入	174,867	100,000
探鳥会参加費	292,011	290,000
雑収入	45,785	60,000
補助金	400,000	400,000
総務扱事業収入	7,254	0
事業部売上金額	1,049,288	1,200,000
事業部雑収入	191,613	0
合 計	11,779,424	12,732,869

支 出	7年度決算	8年度予算
什器備品費	20,995	500,000
消耗品費	11,394	50,000
支部報印刷費	935,755	1,500,000
支部報発送料	1,341,000	1,500,000
印刷コピー代	409,259	400,000
通信費	211,701	250,000
雑費	222,171	250,000
家賃	960,000	1,200,000
水道光熱費	54,273	60,000
総務部費用	46,000	150,000
普及部費用	118,770	180,000
編集部費用	50,000	50,000
研究部費用	19,158	30,000
事業部費用	3,212	10,000
仮払金	32,804	0
事業部仕入額	660,063	840,000
予備費	0	800,000
期末繰越金	6,682,869	4,962,869
合 計	11,779,424	12,732,869

後は出納と事務の分離が望ましいことなどの意見が述べられた後、異議なく承認されました。

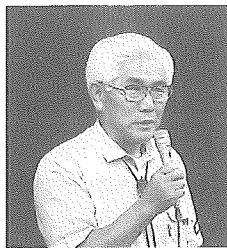
■平成8年度役員体制

支部規約によれば、役員は総会で選出され、支部長・副支部長・監事は役員の間選によることになっています。そこで、総会の席で執行部案の通りに役員を選出した後、総会を一時中断して、その場で新役員による役員会議を開催して、支部長などの互選をして、ただちに総会を再開、次のとおりの役員体制が発表されました。

【支部長】松井昭吾

【副支部長】海老原美夫 中島康夫

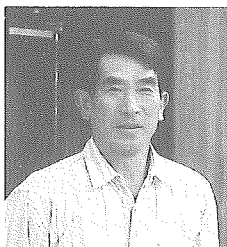
【幹事（再任）】伊藤芳晴 岡安征也 工藤洋三 小池一男 小荷田行男 小林みどり 佐久間博文 桜庭勇 新堂克浩 杉本秀樹



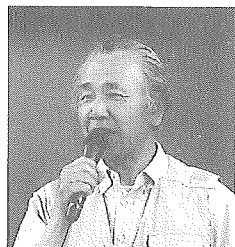
松井昭吾支部長



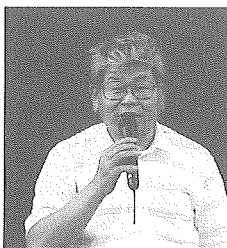
石井智新幹事



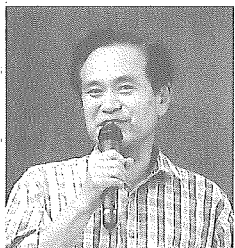
倉林宗太郎新幹事



中村榮男新幹事



藤掛保司新幹事



和田康男新幹事

高草木泰行 田口浩司 手塚正義 内藤義雄
長谷部謙二 菱沼一充 福井恒人 町田好一郎 森本國夫 山部直喜 吉安一彦
【幹事（新任）】石井智 倉林宗太郎 中村榮男 藤掛保司 和田康男

【監事】榎本秀和 楠見邦博

長年役員として活躍してきた石井幸男・石川敏男・北川慎一・林慎一・三田長久・吉原俊雄・乗田実の7氏は、それぞれ仕事の都合などで今回やむなく退任となりました。本当にご苦労様でした。

なお、総会の席では佐藤進氏も役員として選出されましたが、その後発生したご本人の事情で、就任見合わせになりました。

総会というのは支部の重要なことを決める会議であることをおわかりいただけたと思います。来年は総会ウォッチングをどうぞ。お待ちしております。（文責・海老原美夫）

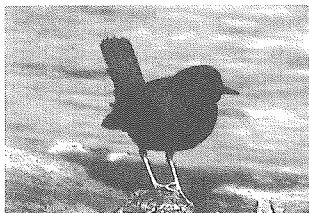
地鳴きコーナー

戸隠・飯綱高原探鳥会

新井昭吉（上尾市）

雨のち曇りという天気予報が外れ、心地良い五月晴れになり特急「あさま1号」からの眺めも素晴らしく、5月25日午前9時過ぎ心踊らせて長野駅頭に立つ。やがて送迎バスに乗り込み最初の目的地飯綱高原へ向かう。歩き出して間もなく小鳥達の歌声が遠来のビジターを出迎える。しかし時間帯が日中ということもあって鳥影もまばらで今一つという感じ。かねてリーダーが「あまり快晴でない方が良いですよ」と言われた言葉をふと思い出す。しかしバード・ウォッチングもさることながら高原の新鮮な空気を肌を感じながらのウォーキングも又格別である。法師池をまわり明朝を期待して早めに宿に向かう。その夜恒例の信州ソバとリーダー特撮のビデオを拝見して床に入る。

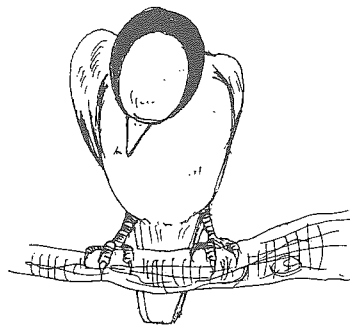
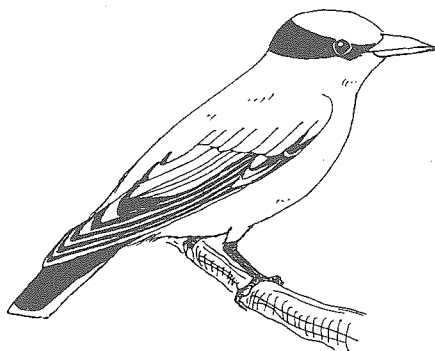
翌朝4時に宿を出発。森林公園を通り随神門から奥社へ向かう途中、残雪の急斜面でミソザイの鳴き声に誘われて目をやると急流の岩場にコマドリを発見。斜面を少し下がった所で今度は「フクロウの雛」という声。全身を真っ白な綿帽子で包んだ様な雛が一羽枯れ枝に掴まっているのが見える。朝食後再度カメラを担いで奥社への坂道を上る。先程の雛の居たと思われる所に大勢の人だかり。なんと雛は参道脇の草むらに降りて（落ちて）居るではないか。その姿はあたかも禅師が黙想している様である。少し離れた樹上には不安そうな顔をした親鳥が見下ろしている。何かカットかシャッターを切った後で、この子は今後どのような運命を辿るのかと思ひ悩みながら現地を後にした。



カワガラス（東京都・菱沼一充）

コウライウグイス、見えました

村上由香（越谷市）



コウライウグイスが
羽をたくらいて下を向いた
こんなふうに見えました。

ツミの獲物のゆくえは？

河邊昌治（浦和市）

「しらこぼと」5月号5ページの浅見健一氏「ツミとの出会い」を読みましたが、この場合ツミが二時間かけてツグミの後頭部と背中部分の部分を食べて飛び去ったとあります。が、この食べ残しその後どうなったかに興味があるのです。その後すぐ、カラスが来て食べてしまえば終わりですが、カラスがやってくるまで、カケス達が空腹であったならば、そしてカケス達がこの食べ残しを見つければ、カラス科であるカケスは他の鳥の巣を襲って雛を食べるので、この食べ残しを食べるかどうか見たいものですね。興味あるところです。

ハイタカ (European) Sparrow Hawk または Eurasian Sparrowhawk

日本にはハイタカ属のタカが4種類見られます。即ち、オオタカ、ハイタカ、ツミとアカハラダカです。このハイタカ属の特徴はまず第一に最もタカらしいタカで、俊敏な飛翔ができ、攻撃的で主に小鳥の類を飛翔中に追跡して捕食します。翼はやや短く、翼端はまるく林の中などで小鳥を追うのに適しています。

ハイタカ属の学名 *Accipiter* はラテン語の『獲物を捕える』に由来し、この種のトリの激しい狩猟方法を表現しています。この際 *Accipiter* (アクシピター) は簡単に覚えやすいので世界に通用する学名を一つ自分のものにしてはいかがですか？ 世界には49種の *Accipiter* がおり、そのうちの4種は前述のように日本でも見られます。

ハイタカは Sparrow Hawk (雀鷹-スズメを捕食するタカ) と呼ばれ特にスズメ等の小鳥類を捕る性質が強調されております。European または Eurasian はその分布がヨーロッパまたはユーラシア大陸を中心としていることを示します。アメリカやオセアニアには全く分布していません。

本によっては Sparrowhawk と一語とするものと Sparrow Hawk のように二語に分けるものがありますが、基本的には大差はありません。ただ一語扱いのほうがより一般的になっているようです。

この小回りの利く戦闘機のようなハイタカも、時には勢い余って樹木に激突死をすることもあるとのこと。以て銘すべし！

監事退任のご挨拶

石川敏男 (大阪府)

今回が私の監事としての最後の監査かと思えますと、いささか懐旧の念を禁じえません。

立ち上がり当初は人間関係の相克などがあり、各自が野鳥を巡る想いの上で真剣に一生懸命したことで、結果的には会を離れられた方もいました。今は亡き今井初代支部長の経営されていた熊谷市の今井旅館の一室で、先輩諸氏が議論されていたのを覚えています。私は一番若かったものですから、役員会の末席で、何とか議論についていくのがやっとでした。まだ生れたばかりの小世帯故の熱気みたいなものがあり、大変懐かしい情景です。支部再生当初は、決して順風満帆ではありませんでした。

幸いなことに会員の方々のご協力もあり、探鳥会を重ねるに従い、会員数も徐々に増えていき、今では、個性豊かな多くの人々が集う支部になりました。

ボランティア組織を維持するには、ゆっくりズム、即ち「ゆっくり、着実に」、ネパー

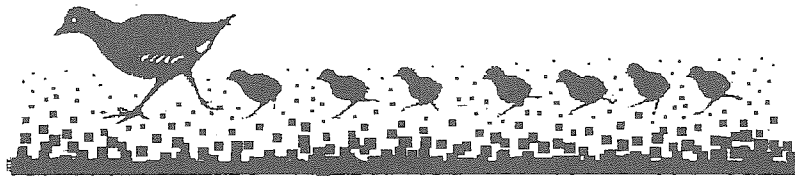
ル語で言うビスターリ、ビスターリが、一番良いのではないかと思うようになりました。支部はいろんな人たちの集まりですから、意見の違いがあるのは当然で、時には大いに議論をたたかわせることも必要でしょう。しかし、事を性急にやろうとすれば、ボランティア組織は壊れ易いとも感じています。毎月開催されている役員会議や編集部会、隔月の普及部会など、意見を交わし、話し合いをする場が設定され、維持し続けられてきたことこそ、「ゆっくりズム」が実現されていることの証左ではないかと考えています。

支部発足時の役員は、今や私と海老原さんの2人だけとなり、「生きた化石」と言われています。まだまだ支部活動に積極的に関わっていきたく思っていた矢先に、関西転勤の辞令をもらい、残念ながら監事を退任することとなりました。海老原さんには申し訳ないのですが、一足お先に失礼させていただきます。

支部の益々のご発展を祈ってやみません。
6月16日深夜。
夜のしじまにケリの力強い声を聞きつつ。

ヨシゴイ ◇6月11日、戸田市の道満公園で2羽(陶山和良・順子)。
 ゴイサギ ◇6月11日、戸田市道満の釣り堀で幼鳥2羽(陶山和良・順子)。
 アカガシラサギ ◇5月26日午前10時30分頃、朝霞市浜崎の黒目川左岸の休耕田で1羽。川の土手沿いのアシ原に来ているオオヨシキリを見ていたら、いきなり隣の休耕田に降りてきた。空中では、翼の白いドバトかと思ったが、降りたらサギであった。香港の探鳥会で見たことがあるので、すぐそれと分かった(山上善郎)。
 オオタカ ◇4月23日、秩父市の羊山秩父愛鳥会サンクチュアリで1羽(山岸昭治)。
 サシバ ◇4月29日、秩父市の羊山公園で1羽。鳴いて飛び立つ(山岸昭治)。
 コチドリ ◇5月19日、杉戸町大島新田の貯水池で2羽(秋間利夫)。◇6月11日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(陶山和良・順子)。
 ムナグロ ◇5月19日、杉戸町遠野の田んぼで8羽(秋間利夫)。
 ハマシギ ◇5月19日、杉戸町遠野の田んぼで夏羽1羽(秋間利夫)。
 キアシシギ ◇5月18日、幸手市木立の中川で6羽(秋間利夫)。◇5月19日、杉戸町遠野の田んぼで11羽(秋間利夫)。
 チュウシャクシギ ◇5月19日、幸手市戸島で2羽(秋間利夫)。
 コアジサシ ◇5月19日、杉戸町大島新田の貯水池で2羽(秋間利夫)。◇6月2日、戸田市内の空き地で右脚に蛍光色系緑色のプラスチック製と思われる足環のある個体1羽(森秀夫他5名)。◇6月11日、戸田市道満荒川第一調節池で5羽(陶山和良・

順子)。
 シラコバト(落鳥) ◇6月15日午前7時30分頃、JR鴻巣駅の上りホームに1羽の死体があった(石井智)。
 ジュウイチ ◇5月10日、大滝村の荒川上流で鳴き声を聞く(原田秀雄)。
 カッコウ(初認) ◇5月14日、北川辺町の渡良瀬遊水地で2羽(樋口信之)。◇5月15日、大宮市丸ヶ崎町で声を聞く(藤原真理)。◇5月15日、浦和市芝原で声を聞く。我家の近くの雑木林や植木畑がだいたい姿を消し、今年はどうかなあと考えていましたが、懐かしい声を聞かせてくれました(大武昭雄)。◇5月15日、秩父市の羊山公園で(山岸昭治)。◇5月25日、蓮田市黒浜の黒浜沼上沼で、今年も初夏の風と共にやって来た。場所を変えながら、沼の周囲で1時間以上鳴いていた(玉井正晴)。◇5月28日、浦和市大崎で。新道建設の騒音の合間から鳴き声が聞こえてきた(藤原寛治)。◇5月30日、浦和市岸町の調(つきのみや)神社で声を聞く(青山恭之)。
 ツツドリ ◇4月29日、秩父市の羊山公園で(山岸昭治)。◇5月4日、三峰山で(山岸昭治)。◇5月10日、大滝村の荒川上流で鳴き声を聞く(原田秀雄)。
 ホトトギス ◇5月15日、秩父市の羊山公園で(山岸昭治)。◇5月30日、坂戸市西坂戸の自宅上空を鳴きながら飛ぶ1羽を窓からウオッチング(増尾節子)。
 アオバズク ◇5月18日、浦和市瀬ヶ崎の自宅付近の屋敷林でしばらくの間鳴く。ここでは初めて聞く(渡邊光行)。◇5月23日午後11時頃、浦和市岸町の調神社で1羽。我家の窓から「ホッホウ、ホッホウ」と聞こえてきたので行ってみると、神社の南西部の木の上方で鳴いていた(青山恭之)。◇5月28日午前1時、浦和市の自宅ベランダ



(秋間 利夫)

正面のアンテナにとまってしばらく鳴く。
距離40m、双眼鏡で確認。やはり今年も近くに来てくれたか（新堂克浩）。

カワセミ ◇5月29日、坂戸市西坂戸の自宅裏の葛川の土手で親子連れの2羽。幼鳥がダイビングして魚を獲った。（増尾節子）。◇6月11日、戸田市道満の釣り堀で1羽（陶山和良・順子）。

コルリ ◇5月4日、大滝村三峰山で♂1羽。20分間同じ場所で鳴く（山岸昭治）。

トラツグミ ◇4月21日、横瀬町字根で1羽（山岸昭治）。

クロツグミ ◇4月18日、秩父市の羊山公園で今年初の一声（山岸昭治）。

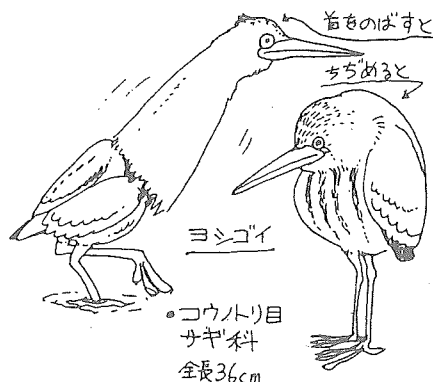
ツグミ ◇5月4日、大滝村三峰山で、上空を10羽位の群れで飛翔（山岸昭治）。

コヨシキリ ◇5月26日、大宮市深作の休耕田のアシの上で3羽以上。オオヨシキリに負けじとさえずっていた（玉井正晴）。

オオヨシキリ ◇5月28日、31日、6月6日三郷市の江戸川でさえずっている個体を数えてみました。河川敷の一部が工事の所もありましたので、正確な数ではないと思いますが104羽確認しました（岩瀬和志）。

メボソムシクイ ◇5月21日午前9時~10時頃、浦和市岸町の調神社で♂1羽。高い梢でさえずる。我家の窓から見える調の杜からあの特徴のある4拍子のさえずりが聞こえてきたので、二人で双眼鏡を持って出かけてみました。高い高い木のてっぺんあたりで、サッと動く鳥影は見えましたが、なにせ葉がかなり茂っていて、目で確認はできませんでした（青山恭之・博子）。

センダイムシクイ ◇4月28日、秩父市美の山で（山岸昭治）。



（富士鷹なすび）

キクイタダキ ◇5月4日、大滝村三峰山で。地上で巣材をとる（山岸昭治）。

キビタキ ◇4月29日、秩父市の羊山公園で今期初見（山岸昭治）。◇5月5日、秩父市美の山で（山岸昭治）。◇5月12日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♂1羽（上野越郎、恵美子、英士郎）。

オオルリ ◇5月2日、秩父市の羊山公園で♂2羽。今期初見（山岸昭治）。◇5月12日。坂戸市西坂戸♂1羽。高い調子のいい声でさえずる。見とれていたら青虫を捕食した（増尾隆・節子）。

コサメビタキ ◇4月28日、秩父市美の山で4羽（山岸昭治）。

ツリスガラ ◇5月12日、川越市安比奈新田の入間川で約10羽（上野倫郎、越郎、英士郎）。

ヤマガラ ◇5月5日、秩父市の羊山公園で電柱上部のアンクルに営巢中（山岸昭治）。

ウソ ◇4月21日、横瀬町字根で（山岸昭治）。

コムドリ ◇5月13日、秩父市の羊山公園で♂♀各1羽（山岸昭治）。

表紙の写真

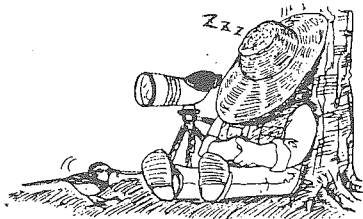
コマドリ（ヒタキ科ツグミ亜科）

東京都西多摩郡の『都民の森』に2日間通って撮影したビデオからのプリントです。

暗い藪の中にあることが多くて、なかなか明るいところには出てきてくれないコマドリが、ほんの一瞬、目の前に出てきてくれました。

あまり近すぎて、カメラごと後ずさりしてなんとか写しました。ビデオ映像としては短かくて使えないのですが、1コマでもしっかり写っていれば、プリントには使えるんですね。佐藤 進（大宮市）

行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

北本市 石戸宿定例探鳥会

期日：8月4日（日）

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後、タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乘してください。

担当：岡安、榎本、内藤、立岩、永野（安）、永野（京）、川那部

見どころ：石戸宿の夏に何を見るか、伸びたアシ原でヨシゴイに決めましょう。平地では最も鳥の少ない時季だけに「人も暑ければ、鳥も暑くて高地に避暑に行っているんだヨ。でも石戸のバーダー達は本当にこの暑さが好きなんですよネ」と鳥のつぶやきが聞こえてきそう。

熊谷市 大麻生定例探鳥会

期日：8月11日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：岡安、田口、中島（章）、和田、石井（博）、倉崎

見どころ：立秋は過ぎたけど暑い盛りの探鳥会「ウン…つらい」が実感でしょう。でも鳥達はその暑さの中に秋を見つけているんですよ。渡りのハシリを河原で見つけてみませんか。その時はきっと暑さを忘れていませんか？

浦和市 三堂地区定例探鳥会

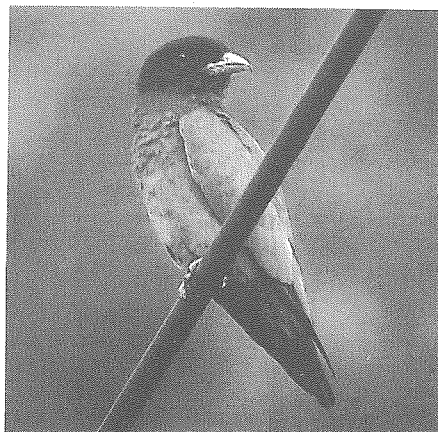
期日：8月18日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後、バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、伊藤、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、嶋田、森

見どころ：お盆が過ぎて、なにやら静かになった見沼たんぼです。カイツブリの姿、ゴイサギの飛翔、いつもの見沼ですが、芝川のアシの葉陰に初秋の色が見えています。アフターは緑陰で腰を下ろし一息入れながらみなさんの故郷のお話をお伺いしたいものです。



ブッポウソウ（大宮市・佐藤 進）

浦和駅周辺

期日：8月25日（日） 午前9時～午後5時

会場：埼玉県県民活動総合センター

交通：ニューシャトル大宮8:15発に乘車、羽貫駅下車（約23分）、無料送迎バス接続。またはJR上尾駅東口から伊奈学園行きバス終点下車（約27分）、徒歩約10分。無料駐車場あります。

申し込み：支部事務局または中島普及部長

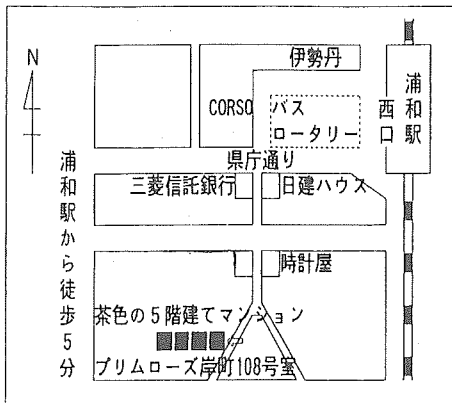
案内：リーダー研修会参加者募集！ 研修会は今年で13回目、支部創立以来欠く事なく続けてきています。暑い最中一日暑い勉強をしますが、かたくるしいものではなく、新たにリーダーとなって、支部の運営に新鮮な力を発揮してくれる方を募集し互いに学ぼうというものです。リーダーになる為の特別の資格はありません。鳥や自然を愛し、支部会員であることだけで十分です。あなたの応募を、お待ちしております！

浦和駅周辺

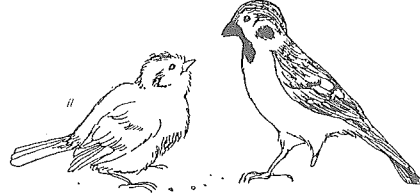
とき：8月31日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：今日で8月もおわり、朝夕は幾分涼しくなりましたが日中の暑さはまだまだです。元気なあなたもそろそろ夏の疲れが出てくる頃かと思いますが、今月も毎度のご協力をお願い致します。



近所に左足のないスズメがいました。密かに成長を見守っていたのですが、先日ヒナを連れてベランダにきてくれました？



ガソバレ！ 母さんスズメ！！

（浦和市・鈴木美由貴）

本庄市 坂東大橋探鳥会

期日：9月1日（日）

集合：午前8時50分 JR高崎線本庄駅北口午前8時55分発十王バス新伊勢崎行きに乘車、坂東大橋南詰下車。現地集合可。但し駐車は土手側にのみお願いします。

担当：町田、小池、林（滋）、中島（章）、和田、倉崎、堀

見どころ：ちょっと気の早い帰国途中のシギたちやショウドウツバメの群れ。アマツバメと赤とんぼの共演も観察できるかな。残暑厳しき折から帽子、冷たい飲物をお忘れなく。

千葉県習志野市 合津川鳥探鳥会

期日：9月1日（日）

集合：午前9時15分 JR京葉線南船橋駅前
交通：JR武蔵野線 武蔵浦和8:11→南浦和8:14→南越谷8:26→終点下車

担当：佐久間、手塚、伊藤、長谷部、篠原（東）、中村（治）

見どころ：今日から9月！ シギやチドリは秋の渡りの最盛期です。昨年この探鳥会では、なんと23種も見る事ができました。シギやチドリは見分けにくく苦手だと言う人は是非お出かけください。

9月8日（日）・熊谷市大麻生定例探鳥会

・千葉県船橋海浜公園探鳥会

行事報告

3月20日(水、休) 秩父市 羊山公園
参加: 56人 天気: 晴

オオタカ コジュケイ キジバト コゲラ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 朝、集合場所に秩父愛鳥会の宮崎章次会長が来てくれて、今年の冬鳥は少ないとの情報。なあと、穏やかな天気にも恵まれただけでも、うれしいのだ。みんなリーダーのおかげなのだ、探鳥会開始。オオタカが飛び、エナガが騒ぎ、コジュケイがトコトコ。今年初めてのイワツバメと、ウグイスのさえずりも。最後の点呼でいなかった人も、夜に電話したら、ちゃんと帰ってました。ご安心を。(海老原美夫)

3月23日(土) 栃木県 日光東照宮裏山
参加: 39人 天気: 晴

オシドリ トビ ノスリ キジ キジバト アカゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) スタート地点の神橋では、オシドリと巣に入出入りするカワガラスを見た。滝尾神社への参道では、ミソサザイの美しい声を聞いた。稲荷川畔での昼食時には3羽のノスリが出現。東照宮の裏ではマヒワ数羽が高い杉の木で実を食べていた。暖かい、のんびり楽しめた一日。(中島康夫)

3月24日(日) 行田市 さきたま古墳公園
参加: 57人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ キジ キジバト コゲラ ヒ

バリ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 奥の山古墳と二子山古墳に生えていた木がほとんど全て根元から切り倒されていて、ハゲ山になっていた。古墳の周囲の堀割にも水がなく、水鳥をほとんど見る事ができなかった。しかし、前玉神社の森に入る前に、路上に降りていたビンズイをじっくり全員で観察し、タヒバリとの違いを理解できて満足。(吉原俊雄)

3月24日(日) 狭山市 入間川
参加: 32人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ コジュケイ コチドリ イカルチドリ イソシギ タシギ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) モズやカワセミがつかいをつくり、ツバメやコチドリもやって来て、やっと春らしくなった入間川。工事が日曜で休みのためか、意外と鳥は多い。途中立ち寄ったカタクリの自生地では、まだかたいつぼみが多い中、ようやく開花した2株を見つけた。稲荷山公園は、嵐(花見)の前の静けさといった感じで人影少なく、アオゲラやアカハラも姿を見せてくれた。(長谷部謙二)

3月30日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
ボランティア: 18人

赤塚義正、荒木恒夫、岩上照代、江浪 功、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、小林孝太郎、櫻庭 勇、新堂克浩、新部泰治、藤掛

保司、藤野富代、増尾 隆、松井昭吾、谷津弘子、渡辺喜八郎

3月31日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 22人 天気: 晴

オオタカ ハイタカ コジュケイ キジ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 公園内のマラソン大会と一緒に、急遽コースをいつもの逆にとった。スタート直後にここでは珍しいオオタカ、ハイタカが上空を舞う。松井支部長が呼び寄せてくれたと感謝。西側の屋敷林でルリビタキが見られて大喜び。東側の斜面林では、カケス、メジロ、シメをじっくり観察。つい最近、公園内のあちこちに木製の柵が張りめぐらされた。更に整備が進むと下草なども刈込まれたりして、環境が変わってしまわないか心配だ。(吉安一彦)

4月7日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 40人 天気: 曇後晴

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ コジュケイ キジ コチドリ タゲリ タシギ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 花曇り。途中、雨もパラッときたが、赤、黄、ピンクなどいろいろな花が咲くヘルシーロードコースをのんびり楽しんで歩くことができた。また、コチドリやツバメ、それに初めての方には、シメや最後のキジ(キレイなおスなんだ。またこれが!)など終わってみれば35種!花に鳥にとてんこ盛りの探鳥会だった。(伊藤芳晴)

4月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 85人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ トビ オオタカ ハイタカ ハヤブサ チョウゲンボウ コジュケイ コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タ

ヒバリ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 風も弱く申し分のない天気。アイメイトの会(盲導犬と生活されている方の団体)の一行が初参加。応援のリーダーもかけつけてくれて賑やかに開始。期待したSLは来なかったが、桜はほぼ満開で、ニュウナイスズメも何とか見られ、猛禽も4種出現と、まずまず。(森本國夫)

4月14日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

参加: 66人 天気: 晴

カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ、チョウゲンボウ コチドリ ムナグロ タシギ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ノビタキ ツグミ セッカ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 快晴、風なしの絶好の日和。シギ・チを求めて、春の荒川の河川敷の田圃(B地区)を歩いた。鳥たちは夏羽がきれいで、特にカシラダカ、ノビタキの夏羽が好評。ゆっくり歩いて久し振りの余裕たっぷりの探鳥会。希望者は終了後にHさんのご好意で、公園に出かけ、ヒレンジャク、ツリスガラを見た。(楠見邦博)

4月20日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

雨のため中止。

4月21日(日) 浦和市 三室地区

参加: 66人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ キジ バン コチドリ イソシギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 若葉を見ようとコースを変え、代用水の西縁から田圃を抜けて片柳の斜面林沿いの道に出た。初めてのコースで新鮮。こいのぼりが春風にはためいていた。鳥はカシラダカの夏羽がきれいで、アカハラが久し振りに出現。視覚障害の方が1名、盲導犬と参加され、皆さんが親切だと喜ばれた。(楠見邦博)

連絡帳

●ボランティアをお願いします

当支部は今のところ専従職員は一人もおらず、無償のボランティアが力を合わせています。毎月の『しらこぼと』袋づめの会もその一部ですが、今回は特に事務局関係の次の事を分担して下さる方を募集します。

①土曜日当番

6月号でもお願いしましたが、まだお申し出はありません。毎週土曜日の午後2時～6時の間、交代で支部事務局の鍵を開けて、来訪者や電話の応対とか軽い雑用をこなしていただく方を2～3名募集します。

②会計伝票ワープロ入力

支部会計はワープロの表計算ソフトを使って処理しています。月に1～2度、土曜日午後後に事務局に来て、会計伝票を入力して下さる方を募集します。

ワープロはキャノワードです。キャノワードで文書作成ができる方であれば、難しいものではありません。

③『しらこぼと』発送作業

毎月袋づめの会(土曜日)の翌々日の月曜日の朝、袋づめされて束ねられた数十kgの重さの『しらこぼと』を台車に乗せて、徒歩5～6分のところにある郵便局まで運び、別納郵便として発送します。10年以上毎月事務局が運んできましたが、寄る年波でだんだんきつくなりました。どなたか替わって下さる方はいませんか。多少体力は必要です。

●NHK「野鳥百景」に出演

日本野鳥の会が協力している「野鳥百景」という番組をご存じですか。NHK衛星第2放送の番組表を見ていると、時々午前10時50分から11時までと午後8時50分から9時までの10分間、「野鳥」または、ただ「鳥」などと出ていることがあります。毎回1種類の野鳥につき、会員の解説を添えて紹介する番組です。

現在当支部の山部直喜編集部長が本誌『しらこぼと』ではなくて、野鳥のシラコバトを

紹介する番組の計画が進行中です。

9月から10月頃のいつか、山部編集長の顔が画面に出てくるかもしれませんので、少し身を引きながら、スイッチを入れてみて下さい。

●市民大学「自然を大切に」

その山部編集長が、5月23日(木)三郷市教育委員会主催の市民大学で、「みさとの自然」をテーマに講師をつとめました。

●8月の事務局 土曜と日曜の予定

- 17日(土) 編集会議、研究部会(1時から)
- 24日(土) 校正作業(1時から)
- 31日(土) 袋づめの会(1時から)

●会員数は

7月2日現在2,661人です。昨年分譲開始された朝霞市のミニサンクチュアリ付きマンションは、1年間の野鳥の会会員サービスも付いていました。1年経ち、内93名分会費が継続されませんでした。そのため会員数は前月より71人減となりました。

活動報告

- 6月1日 普及部会議。
- 6月15日 編集会議。研究部会。
- 6月16日 役員会議(司会:新堂克浩、総会打ち合わせ・探鳥会予定・その他)。
- 6月22日 7月号校正作業(海老原美夫・工藤洋三)。総会資料作成(事務局)。

編集後記

3月だというのに猛暑。じっとしているだけで汗が流れ落ちる。現れる鳥はリュウキュウヨシゴイばかり。昼メシは「赤いきつね」。ほとんど真夏の草いきれの中で食べる熱いカップめんなんて、もう拷問だ……十数年前の大学卒業旅行、石垣島での思い出。リュウキュウヨシゴイというと、今でもあの暑さと熱さがよみがえる。秋ヶ瀬に来ているらしいけど、私はパス。冷たいビール飲みながら、皆さんのビデオ見ることにします。(みどり)

『しらこぼと』1996年8月号(第148号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
 印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用